

NISHIMURA
FOUR SEASONS

2021.10.31 AUTUMN
Vol. **185**

「withコロナ」の 新しい生活様式を 実践していきましょう



代表取締役

西村 幸浩

北海道で8月27日に発令された3度目の緊急事態宣言が10月1日に解除されました。ワクチンの接種も進み、感染者が減少傾向にあります。が、決して油断することなく、黙食や3密（密集・密接・密閉）の回避などの基本的な対策を怠らず、「withコロナ」の新しい生活様式を実践していきましょう。

西村組では9月18日に一回目、10月16日に二回目の新型コロナウイルスワクチン職域接種を実施しました。ご協力いただいた、かわむら整形外科と小林病院の皆様をはじめ、関係者の皆様には、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。そして、西村組の職域接種スタッフとお手伝いしていただいた全ての従業員の皆様については、日々の業務がある中で大変な苦労だったと思います。西村組のスタッフみんなの力が一つになり、無事に終えることが出来ました。本当にお疲れ様でした。

さて、皆さんは日々の仕事にどういった気持ちで取り組んでいますか。以前お伝えしたことがあるかと思いますが、「生き残るのは、変化に強い者である」。今置かれている環境の中で、これがベストなのか試行錯誤を繰り返し、自らの手で変化させることが重要なのです。今やっていることがすべて正しいというのではなく、

何か改善できることはないのかという視点を、常に持って業務に取り組んでください。そのアイデアやノウハウというのは西村組の大切な知的財産となるのです。日常の業務への工夫、さらにそこから一歩進んで、この技術で特許を取れるのではないかと、商品化できるのではないかと、という発展した考えを持って欲しいと願っています。そして、それが日本中、世界中に広まって行くことで、地域の発展に寄与し、「誰もが知っている、誰も見ることがない建設会社」へ近づいていくのではないでしょう。

令和3年度もう半分が終わり、折り返し地点を過ぎました。年度当初に立てた目標の進捗状況は如何でしょうか。目標達成に向けて足りないところはないか、もう一度見直してください。その際は物事の本質を見つめることが何より重要になってきます。正確な情報を入力し、しっかりとした判断基準に基づいて行動するということが重要だと思います。西村組の皆さんには「西村組PRIDE」というビジョンマップがあります。迷ったときには、そこに判断基準、行動基準が示されています。あとは正確な一次情報を入力するだけです。毎日の生活や仕事の中で経験を積み、鋭い目を養っていきましょう。

我々が住む日本には、色とりどりに表情を変える“季節”という自然の贈り物があります。

それを五感のすべてを使って体いっぱいに感じることを、さらには人間にとって一番大切な“心”で感じられることはとても素晴らしいことです。

当社を支えてくださる皆様が、いつまでも健康で心豊かであることの願いをこのタイトルにこめ、西村組の“姿”を“季節”とともに伝え致します。

「withコロナ」の新しい生活様式を 実践していきましょう

代表取締役 西村 幸浩

安全衛生

全国労働衛生週間

現場紹介

オホーツク海地区頓別増殖場造成工事(補正)

現場代理人 中川 敬

サロマ湖漁港外1港

アイスブーム補修その他工事

担当者 齋藤 正太

網走地区(常呂漁港)水産物供給基盤

機能保全工事(補正)(翌債)外

現場代理人 依田 広司

安全環境管理部NEWS 連載スタート!

経営企画部NEWS

採用と、チームと... 連載スタート!

NISHIMURA HOTLINE

入社して半年が経ちました — 10

雄武地区小学生現場見学会 — 11

令和3年度 北海道開発局優良工事等表彰
網走開発建設部長表彰 — 11

日本港湾協会 港湾功労者表彰 — 12

石巻市表彰式 — 12

あおみ建設株式会社様より表彰状 — 12

清水町から感謝状 — 12

職域接種を実施しました — 13

西村組×ひがし北海道クレインズ — 13

石狩港新港ゴミ拾い — 14

コムケ湖周辺ゴミ拾いボランティア — 14

チャレンジ・セーフティーラリー北海道2021 — 14

インターンシップ — 15

秋の交通安全運動 — 15

湧別建設業協会主催 交通安全街頭啓発 — 15

INFORMATION — 15

親睦会だより

全国労働衛生週間

実施期間／令和3年10月1日(金)～7日(木)

趣 旨

全国労働衛生週間を契機として、作業員の健康維持・増進等の重要性について認識を深め、心身ともに健康で快適な職場づくりのため効果的な労働衛生活動を展開する。

令和3年度
全国労働衛生週間
スローガン

【向き合おう！ ころとからだの 健康管理】

(株)西村組
令和3年度
年間スローガン

【挑戦しよう！災害ゼロから危険ゼロへ！】

本年度も9月1日から9月30日を準備期間、10月1日から7日までを本週間として、第72回全国労働衛生週間が実施されました。

建設業に従事する労働者の健康を巡る状況は、令和2年の業務上疾病を見ると、883人、前年比278人の増加となっています。脳・心臓疾患に係る労災補償請求件数は108件で前年比22件減となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大も鑑みると、大変憂慮すべき状況にあります。

また、仕事や職業生活に関する強い不安、悩み又はストレスを感じる労働者も多く、健康障害の防止対策およびメンタルヘルス対策の推進が求められるとともに、さらには高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害の予防的観点から、健康づくりの推進も行わなければなりません。

こうした背景を踏まえて今年度は、『向き合おう！ ころとからだの 健康管理』の全体スローガンにより全国労働衛生週間を展開し、労働衛生意識の高揚を図り自主的な労働衛生管理活動の一層の推進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた副スローガンとして『うつらぬうつさぬルールとともに みんなで守る健康職場』を設け、事業場における更なる感染防止の徹底を呼び掛けています。

これらの取組が事業場によって着実に実施され、健康の確保、推進が図られるためには、経営トップや事業場のトップが自らの責務について認識し、衛生管理者、衛生推進者等が中核となって衛生委員会の場を活用するなど労働者の意見を反映させながら対策を展開させていくことが重要となります。労働者自身もそれぞれの立場において健康管理の活動に参加し、積極的にころとからだの健康づくりに取り組んでいきましょう。



月 日	行 事 項 目	行 事 内 容
10月1日(金)	趣旨徹底の日	1.社長からのメッセージ伝達 2.意義と重要性の強調並びに行事予定説明 3.労働衛生に関するポスターや垂れ幕等掲示
10月2日(土)	家族健康の日	1.家族みんなで健康について考える 2.心とからだの健康チェック
10月3日(日)	休養の日	1.心身のリフレッシュ 2.ゆっくり体操
10月4日(月)	総点検の日	1.保護具の使用及び保管状況の点検 2.工事用機械・工具・設備・作業方法の衛生面からの点検 3.危険・有害物の使用及び保管状況の点検 4.作業場所、休憩所、寄宿舎、食堂等の衛生管理状況の点検
10月5日(火)	安全教育の日	1.火災、地震等による避難訓練の実施 2.巡回検診車を利用した健康診断の実施
10月6日(水)	パトロールの日	1.経営首脳による安全衛生パトロールの実施
10月7日(木)	反省の日	1.本週間を通しての反省と今後の課題について検討し、安全施工をめざす 2.協力業者・作業班・個人等に「いいね」「ありがとう」を伝達



全国労働衛生週間を迎えて

みなさん、毎日のお仕事ご苦労様です。

令和3年度の全国労働衛生週間は、9月1日から30日までを準備期間、10月1日から7日までを本週間として、左記のスローガンのもとに展開されます。

【向き合おう！こころとからだの健康管理】

期間中、みなさんの健康保持・増進等の重要性についてさらに認識を深め、心身ともに健康で、誰もが安心して働ける快適な職場づくりを目指し、効果的な労働衛生管理活動を実施します。

昨年より新型コロナウイルス

感染症が世界的に流行し、我が国においても、8月に4度目の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて国民が一体となった協力が求められました。そして現在では、「三つの密」を避けることの徹底や「新しい生活様式」の推進など、これまでとは違う社会生活や企業活動などが求められています。また、建設業においても、新型コロナウイルス感染者についての報告遅れは労災隠しと同等に扱われるなど、真摯な対応を求められています。協力業者の皆様におかれましても、現場内で感染者が発生した場合、速やかに報告するようにお願いいたします。

さて、建設業に従事する労働者の健康を巡る状況は、令和2年の業務上疾病を見ると、883人（前年比278人増）と大幅に増加しています。脳・心臓疾患に係る労災補償請求件数は108件で前年比22件減となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大も鑑みると、大変憂慮すべき状況にあります。

また、石綿を原因とする肺がん及び中皮腫の労災支給決定件数は、近年、建設業が共に全体の約半数以上を占めており、2030年頃には石綿含有建材を用いた建築物等の解体工事件数がピークを迎えると予想されています。

さて、わが社においては、過重

労働による脳・心疾患の予防のために疲労蓄積度自己診断チェックリストで健康状態の把握に努めておりますが、さらに作業環境や作業方法などの改善をすすめる、心とからだの両面からの健康管理対策、快適で明るい職場づくりをめざしますので、次の各項目のご協力をお願いいたします。

- 一、作業方法などを工夫し、時間の短縮ができるように努力して下さい。
- 一、作業開始前の準備体操や作業終了後のストレッチを励行して下さい。
- 一、体調の不安や悩みがある場合は、早めに上司に相談して下さい。
- 一、疲れを取るために早寝を実行し、十分な休養をとるようして下さい。
- 一、バランスのよい食生活を心がけ、よりよい生活習慣を身につけて下さい。

職場において、まずは従業員の皆さんが朝の挨拶から始まる職場のコミュニケーションを一層促進し、心と体の健康にも十分配慮していただき、全国労働衛生週間中はもちろんのこと、引続き無事故・無災害で工事を完成させるようお願い致します。

令和三年十月 一日
株式会社 西村組
代表取締役 西村 幸浩

現場紹介



発注者／北海道宗谷総合振興局
受注者／西村・丹羽・安田 特定建設工事共同企業体
受注金額／¥305,800千円（うち工事に係る消費税¥27,800千円）
工期／令和3年3月30日～令和3年11月20日
工事概要／魚礁構造物撤去移設工
魚礁構造物撤去引上げ・再設置(海上方式)工 一式
（うちホタテガイ漁場A=3,320,000㎡、
マガレイ増殖場A=5,600㎡）N=3,754個



オホーツク海地区頓別増殖場
造成工事(補正)



浜頓別町は、日本最北の稚内市からオホーツク海沿いに90km南下した宗谷管内の南部に位置し、地勢はほぼ平坦で北緯45度、平均気温5℃前後と冷涼な気候です。町内にあるクッチャロ湖は、野鳥がたくさん集まりラムサール条約の保護区に指定されています。頓別漁港は昭和26年に第一種漁港と指定され、ホタテ貝をはじめ、漁獲量を制限し資源管理を徹底するマガニ漁、サケ・マスのか化放流による養殖事業など、環境への配慮から育ててくる資源栽培型漁業を実施しています。本工事は、ホタテガイの生産性の向上と安定のため、波浪の影響の受けにくい沖側海域へ漁場を拡大することを目的に、過去に設置した魚礁施設（魚礁ブロック）を当社の210t吊起重機船及び水中カメラ付きの専用バケッ

トを用いて撤去し、ホタテガイ漁場を拡大します。また、撤去した魚礁ブロックを再設置し、周囲に生息するマガレイにとって良好な育成環境となる増殖場を造成する工事です。

今回、初めて現場代理人という大きな責任を背負う立場になり、人と人との絆や信頼関係がより一層重要なものだと感じました。現場が始まった当初は、新しい土地で、西村組として地元協力業者間の繋がりが無い状態から開始だったため、探すのに色々と苦労しました。今では、協力して下さる皆様のおかげで、バケット及び船の修理・補修など、即座に対応して頂き、誠に感謝しております。

厳しい自然環境の中、小さな怪我もなく無事故無災害で施工が出来ていることは現場で従事される皆様一人一人が、日頃より安全を最優先に考え行動してきた結果だと思っています。

今後においても、現港特有の気象・海象を先取り、無事故無災害での竣工を目指し、現場従業員・協力会社が一丸となって、安全を最優先に考え、今後も努力していきます。また、発注官庁及び関係官庁、地域住民の方々のご理解ご協力をいただき、トラブルもなく工事を無事行えていること誠に感謝しております。

最後に、また一緒に仕事をやりたいと思ってもらえるような現場代理人を目指して頑張っていきたいと思えます。どうかよろしく願っています。

現場代理人 中川 敬

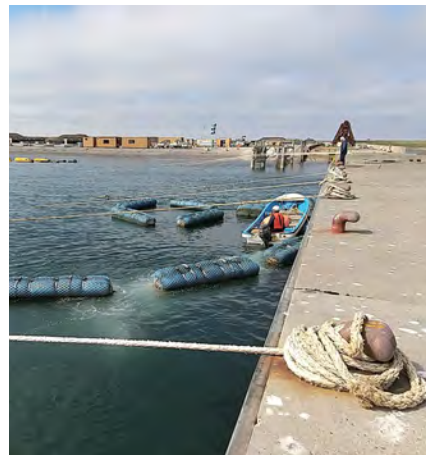


発注者／北海道開発局 網走開発建設部
 受注者／㈱西村組
 受注金額／423,500千円
 工期／令和3年3月16日～令和4年3月9日
 工事概要／防波堤(防水)(サロマ湖漁港)
 アイスブーム工 一式
 防波堤(防水)
 上部工 一式 仮設工 一式
 工事用棧橋B部
 撤去工 一式 上部工 一式
 付属工 一式 舗装工 一式
 工事用棧橋通路部
 構造物撤去工 一式 土工 一式
 本体工〔鋼杭式〕 一式 上部工 一式
 舗装工 一式 仮設工 一式
 防波堤(防水)(能取漁港)
 アイスブーム工 一式

サロマ湖漁港外1港 アイスブーム補修その他工事



サロマ湖は、北海道北東部オホーツク海岸に長さ28km、幅120～500mに及ぶ砂州によって海と仕切られた汽水湖で、日本全国でも3番目の大きさとなっている。本工事施工箇所となるサロマ湖漁港は、オホーツク海とサロマ湖を結



ぶ湖口部に位置する第4種漁港です。湖内では外海に放流するホタテ稚貝の生産のほか、ホタテ・カキの養殖業、カレイ類等の刺網漁業等が営まれ、外海では輪採性によるホタテ桁曳網漁業やサケ・マス定置網漁業を主体とされています。一方で湖口は1月中旬から2月上旬にかけてシベリアからオホーツク海へとやって来る流水の侵入口ともなり、昭和49年1月には大量の流水が湖内に流入し、当時の養殖施設の70%相当の22億7千万もの壊滅的被害を受けました。このような被害を未然に防ぐため、世界で初となる防氷堤「アイスブーム工法」により、アイスブームを設置し流水流入対策が行われています。

本工事では、サロマ湖漁港第1湖口・能取作業所において、アイスブームの調査・点検・補修と、アイスブームのロープが固定杭下に潜り込み切断されないような固定杭の改良と、航路浚渫工事に伴い発生する浚渫土砂の揚土等に使われる工事用棧橋が、老朽化していたことから、旧工事用棧橋を取壊し、工事用棧橋の新設を行う工事です。

アイスブーム補修は、まず流水との擦れによって損傷した箇所を確認するために船外機やタイヤショベルなどを使用して一度上架を行います。損傷箇所の確認が全本数終了したらロープ等の資材発注期間を挟み、9月上旬から補修を行います。補修作業は繊維ロープを使用して編込み巻いていく積巻や、フールト取付の為の繊維ロープを使用して編込んで接続したりなどアイ

スブーム補修は全て手作業で行っています。

アイスブーム固定杭改良は、作業箇所が航路の延長線上にあり、尚且つ潜水作業やクレーン付台船を使用しての作業でしたので潮流の影響を直接受ける環境での作業でした。そこでまず施工箇所如潮止パネルを設置してから作業を行いました。改良部はステンレス製の型枠にコンクリートを充填し改良します。天気や海象に恵まれない日もありましたが、潜水士の頑張りにより無事に完成させることができました。

工事用棧橋は、過年度に製作を行った梁ブロック・床版ブロックの設置と上部コンクリート打設を行いました。また、旧棧橋通路部の撤去と棧橋通路部新設に伴う鋼管杭の打設とプレキャストブロックの製作・設置、上部コンクリート打設を行いました。梁ブロックや床版ブロックの据付の際は起重機船を使用しての大掛かりな作業でしたが安全面や出来形管理を考慮して施工できたのでとてもいいものが出来たと思っています。

社内報が発刊される頃には残工事もアイスブーム工と棧橋通路部の上部工となりますが、今後も現場従業員一丸となり無事故・無災害で工事を竣工できよう努めてまいります。また、発注者や、漁業関係者の皆様、関係業者の皆様には、御理解と御協力を頂き大変感謝しております。工事竣工まで今しばらくお付き合いのほど宜しくお願い申し上げます。

担当者 齋藤 正太



発注者／北海道オホーツク総合振興局 網走建設管理部

受注者／(株)西村組

受注金額／128,172千円

工期／令和3年3月24日～令和3年11月9日

工事概要／【常呂漁港】-4.0m航路 浚渫工A=2,968㎡ V=3,381㎡

-3.5m泊地 浚渫工A=3,500㎡ V=3,325㎡

-4.0m岸壁 L=6.0m

本体工【場所打式】、上部工、付属工、土工、構造物撤去工

【常呂河口漁港】-2.0m航路 浚渫工A=1,032㎡ V=508㎡

【湧別漁港】-4.0m航路 浚渫工A=6,120㎡ V=3,562㎡

-4.0m航路【道債】 浚渫工A=1,000㎡ V=470㎡



網走地区(常呂漁港)水産物供給基盤 機能保全工事(補正)(翌債)外

皆様、お仕事お疲れ様です。オホーツク海は豊かな水産資源のもと新鮮な海産物が各地の港で水揚げされています。常呂・湧別漁港では地撒き方式によるホタテ漁が盛んで国内屈指の産地であり、鮭やホッケなどの魚種を合わせるとその漁獲高は年間7万トンを超え、高品質な状態で国内外へ流通しています。本工事は水産物供給にあたり、漁港利用と密接に係る航路の水深確保や老朽化対策として中央ふ頭先端部の岸壁改修を行うものです。

港の出入口である航路は、海底の堆砂が多くなると干潮時や漁船吃水が深くなる際、船底が堆砂に接触する恐れがあるため、浚渫により水深を確保することが重要です。

工事を進めるにあたり、発注者様はもとより漁協様をはじめとする地元関係各位より御理解とご協力をいただいております。この場を借りて深く感謝申し上げます。残り僅かとなりましたが、無事竣工を目指し現場一丸となつて残工事に取組みます。

現場代理人 依田 広司



近年では、常呂川・湧別川の河口部も砂の堆積が確認されるようになり、春のサケ稚魚放流や秋の遡上時期に対する影響も懸念され始めています。一方、常呂漁港の中央ふ頭先端では厳冬の港内結氷や陸上部の凍結融解に長年さらされたことで、岸壁のコンクリートが激しく損傷し欠損部が見られることから改修が望まれていました。

浚渫工事は4月から5月を湧別地区、6月から7月を常呂地区の順に行いました。両地区とも浚渫土砂の運搬作業では漁業活動の妨げにならないよう、海上は監視船を配置し、陸上では運搬路の清掃・散水を適宜行うなど、接触災害と環境保全に細心の注意を払い進めております。



安全環境管理部
佐藤 朱夏

こんにちは！

安環部の佐藤です。

今季号から連載を持たせていただくことになりました！このような機会を頂けてとても嬉しく思います。これからよろしく願っています。

さて、今回は8月末に2日間にわたって開催した『女性職員による安全衛生パトロール』についてご紹介します。

2017年から始めて今年で4回目の開催となりましたが、今回は初めて工務課職員の皆さんにもご参加いただきました。初日が9人、2日目が6人と大所帯でのパトロールとなりましたが無事終えることができました。

今回は、毎年恒例の作業船への乗船はできませんでしたが、沙留漁港で被覆ブロックの据付作業を間近で見ることができました。



とができました。「すごい迫力！」「思ったよりスピーディな作業だね」と、皆さん感動されていました。

パトロール終了後、「工事の完成形も見たい！」というお声がありましたので、今後のパトロールの際は進捗を写真に撮り、共有していこうかなと思っています。来年以降はコロナが収まっていれば、遠方の現場にも足を運んでみたいですね！

また、今回のパトロールについては、北海道通信さん・北海道建設新聞さんで取り上げていただいたほか、元稲府漁港での紋別港湾事務所さんとの協議会パトロールで、パトロール結果の紹介もさせていただきました。紋別港湾事務所の井元所長、貴重な機会を頂き、本当にありがとうございます。

最後になりますが、参加していただいた点検者の皆さん、ご協力いただいた現場担当者の皆さん、当日取材に来てくださった記者の方、本当にありがとうございました。来年も開催したいと思っていますので、ぜひご協力よろしくお願いします。

採用と、チームと…

Vol.1



取締役 執行役員
経営企画部担当兼採用責任者
西村 幸志郎

取締役 執行役員 経営企画部担当兼採用責任者の西村幸志郎です。今回から連載枠をいただいたのでメインの仕事の「採用」と「チーム」という2つのテーマで書いていこうと思います。第1回目は採用について。

からです。公式アカウントやアイコンイラストなどどうしても「ひと」の存在を忘れてしまいます。しかし、しっかりと顔と個性が見えるアカウントの発信には温度を感じます。会社が大切にしている想いや仕事に対する向き合い方を発信し、そこに共感してくれた学生や求職者が集まってくれる。会社としてとてもうれしいことです。西村組では私のほかに内定者3名がTwitterを頑張っています。ですが正直もったくさんの仲間と一緒にやっていきたいと思っています。この記事を読んでもらっているみなさん。一緒に、始めませんか？

いますか？最近スタングードになってきていますが西村組は少し珍しいTwitterの使い方をしています。それは会社公式アカウントではなく、会社の看板を背負い個人の名前で運用するという方法です。なぜ個人で運用するのかというと、温度を感じる言葉を届けたいか



入社して半年が 経ちました



安全環境管理部
佐藤 朱夏

入社から半年が経ちました。私はインターン生として昨年11月から働いているので、この冊子が配布される頃には、働き始め



工事部
石田 尚輝

入社してから早半年が経過しました、日没も早く肌寒い季節になり、時の流れの早さを痛感しています。

てから1年近く経つことになりました。光陰矢の如しとはまさにこのことです。

振り返ってみて思うのは、「安全環境管理部に入れて本当に良かった」ということです。はじめは大学で学んだ法律が生かせるということで配属を希望しましたが、怖がりで心配性な私にとってはびつたりな部署でした。現場にはこれまで何度もバトロールに行っています。未だに現場内を歩

半年間を振り返ると、初めての事だらけで現場に揉まれ苦労しながらも、着実に仕事を覚え始めているのかなと思います。

私は現在、登栄床漁港で仕事をしていて、日々現場の様々な管理業務や測量などを行っています。現場での仕事は常に流動的なので「人とのコミュニケーション」が非常に大切です。作業員の方が現場作業を円滑に行うには、資材や測量などの段取り

く時はドキドキしますし、「吊荷が落ちて飛んできたらどうしよう」「つまり海に落ちたらどうしよう」と思います。

でも、こうして様々な「if」を考えられるのは、安全管理の立場としては大事なことも思えます。心配するだけで終わらせず、「どうすればそれを防げるか?」を考え、先回りして現場にお伝えし、事故を未然に防いでいくのが今後の目標です。

社会人としての生活は、毎日が学びの連続で本当に楽しいです。日々新たな知識を得ることで、自分の辞書がどんどん増えていくのをとても面白く感じます。

また、上司の皆様方はいつも

をやらなければなりません。作業を進めるために必要な材料や測量は何なのか、私は自分で完璧に段取りが出来ないので、作業員の方や上司に「分からない」とを常に意識して仕事を覚えていきます。

今の仕事の楽しみは、仕上がりていく構造物を見ることがです。今年度の施工箇所である登栄床漁港の南護岸は、私が初めて

「頑張っているね」と声を掛け、見守り、助けてくださいます。知識不足故、とんちんかんなことも多々言っていると思うのですが、突っぱねずに部下の考えを聞き、対話し、時に認め、時に諭してくださる上司陣は本当に素敵だと思いますし、自分は恵まれた環境にいるな、と常々感じます。心から皆さんのことを尊敬していますし、早く皆さんの背中に近づきたいです。

まだまだ先は長く、多くの壁に直面することと思いますが、災害ゼロを目指して頑張っていきます。皆様、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

から携わった工事で、何もないところから、立派な構造物が出来ていく過程を見ていくと、人の力って凄いなと感じます。南護岸が完成した時は、言葉にならないくらい嬉しく誇らしかったです。これがモノづくりの良さなのかなと思います。

今後とも人とのコミュニケーションを大切に、必要なスキルを磨いて成長していきたいと思っています。

新入社員へ先輩より一言



工事部
鈴木 慧

新入社員の2人へ。入社から半年経ちましたが、どうでしょう。仕事内容はもちろん、人間関係や、環境に慣れましたか。まだまだわからないことや、不安になることが多いかと思いますが、私も未だにそういうことが多いです。ですが、その不安を払拭するために、考え行動することで、壁を一つまた一つと乗り越えて成長することが出来ます。

西村組は今変革の中にいます。社是・社訓の「誠実」と「和」を大黒柱とし、西村組PRIDEを掲げ、良い方向に変わってきています。その変革の中で、組織の意思決定方式をトップダウンではなくボトムアップに変えていくというのがあります。その中心にいるのは貴方達です。積極的に新しい風を当社に吹き込むことを期待しています。



雄武地区 小学生 現場見学会

令和3年9月15日（水）、雄武町立豊岡小学校と雄武小学校の2年生～6年生までの児童36人を招き、元稲府の現場で現場見学会を開催しました。

開催するにあたった経緯は、雄武町の元稲府漁港で工事を行っている上で未来ある地元の小学生に、地元産業の事を、どんな工事をしているのかを、港湾工事とはどのようなことを行っているのか、西村組とはどんな会社なのかを座学に始まり、現場で活躍している機械・機器に触れてもらい、建設業に関わることを楽しく学習して興味を持ってもらう場を提供したいと考え、雄武町の教育委員会を通して2つの小学校に相談し、開催するにいたしました。

当日は子供たちと小学校にて座学で勉強し、その後現場を見学したり、ドローンを操作し高い位置からの映像を観たり、大型重機に試乗し迫力を体験したり、ARでiPad越しにその場所には存在しない起重機船を観たりと、工事現場を体験して、最後に集合写真撮影を行いました。コロナ感染防止対策を徹底しながら、児童にとっても楽しんでもらえた見学会を開催することができました。実施した私たちも計画から当日までとてもワクワク楽しかったです。

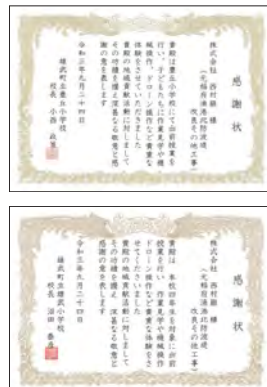
見学会終了後、参加した両小学校から感謝状を、児童36名全員から手書きのおてがみをいただき、とても嬉しかったです！又、両小学校のブログにこのことを記載していただき感謝しています！



ARイメージ画像①



ARイメージ画像②



令和3年度 北海道開発局優良工事等表彰 網走開発建設部長表彰

『令和3年度 北海道開発局優良工事等表彰』において『網走開発建設部長表彰』を受賞しました！

北海道開発局発注の令和2年度に完成した工事の内、弊社施工の「ウトロ漁港 島防波堤・知床岬岸壁工事」が見事受賞しました。令和3年7月19日（月）、網走開発建設部にて行われた表彰式に当現場の監理技術者の合田幸司課長補佐が出席し、表彰状が授与

されました。

施工にあたり、ご協力いただいた近隣住民の皆さまを始め、発注者の方々や協力業者の方々々に改めてお礼申し上げます。

工事名…ウトロ漁港島防波堤・

知床岬岸壁工事

技術者…合田 幸司

表彰状

ウトロ漁港
島防波堤・知床岬岸壁工事

合田 幸司 殿

あなたは頭書工事の施工に当たりその責任者として卓越した技術力と統率力及び適切な判断をもって施工の管理に努力され優秀な成果を上げた功績は誠に顕著でありますよってここに表彰します

令和三年七月十九日

北海道開発局

網走開発建設部長 館石 和秋

あおみ建設株式会社様より表彰状

あおみ建設(株)様の安全大会が開催され、令和2年度に下請施工させていただいた「20AJV 苫小牧浚渫工事」が『安全優秀賞』を受賞しました。

今年はコロナ禍の関係で安全大会自体は開催されませんでした。あおみ建設北海道支店にて安全表彰の表彰式が開催されました。

あおみ

建設(株)様をはじめ、関係各位の皆さまには、こ

表彰状

安全優秀賞



の場をお借りしてお礼申し上げます。

この受賞に慢心せず、安全第一で社会に貢献できるように日々精進したいと思っています。

日本港湾協会 港湾功労者表彰

日本港湾協会より、工事部田中和幸さんが港湾功労者表彰を受賞いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大のため残念ながら表彰式は中止となりましたので、後日西村社長より

賞状と記念品が手渡

される予定

です。田中

和幸さんお



石巻市表彰式

令和3年7月12日、石巻市役所にて石巻市優良建設工事施工業者表彰式が開催され、丸本組・西村組復旧・復興建設工事共同企業体が「施工技術や現場管理、出来栄え

などが極

めて優れ

た工事」

として表

彰状をい

たださ



清水町から感謝状

西江・西村・小針特定建設工事共同企業体の皆さんが施工する工事現場のある清水町で児童館周辺の立木の伐採を行い、清水町から感謝状をいただきました。

工事名…平成28年災ペケレベツ川災復助成12工区

感謝状





職域接種を実施しました

新型コロナウイルスのワクチン接種を実施いたしました。ワクチンは武田／モデルナ社製。当初7月の職域接種を計画していましたが、自治体へのワクチン確保が先行となり職域接種へのワクチン遅配したため、予定より少ない接種人数にはなりましたが、西村組の従業員やその家族のほか、湧別町、遠軽町、紋別市、北見市の近隣市町村の皆さんにも声をかけ、湧別総合体育館にて接種希望者



全員に9月18日(土)に1回目、10月16日(土)に2回目の新型コロナウイルスワクチン接種を実施しました。接種されたかたの中には、妊婦のためモデルナ社製のワクチンを接種できる機会を探していた方や、現在住んでいる自治体での接種案内がまだ来ていなかったもので早く打てて安心した。などの感謝の声もいただき、微力ではありますが地域の皆さん、西村組の従業員やその家族の不安の解消・手助



けができていないかと思っております。ワクチンを接種したからといって油断はできません。正確な情報に惑わされず確かな情報を理解し、正しく恐れ、身近な大切な人を失わないよう一人一人が気を緩めることなく引き続き感染予防対策を徹底しましょう。ご協力いただきました、かわむら整形外科の皆さま、小林病院の皆さま、本当にありがとうございました。



西村組×ひがし北海道フレインズ



前期の試合日程

日時	対戦チーム	会場
11/20(土)17:00	東北フリーブレイズ	八戸：FLAT HACHINOHE
11/21(日)15:00	東北フリーブレイズ	八戸：FLAT HACHINOHE
11/27(土)15:00	H.C.栃木日光アイスバックス	釧路：ひがし北海道フレインズアイスアリーナ
11/28(日)15:00	H.C.栃木日光アイスバックス	釧路：ひがし北海道フレインズアイスアリーナ

昨シーズンに引き続き今シーズンも微力ながらスポンサーとして協力させていただくこととなりました。先日、ひがし北海道フレインズの河合龍一選手、寺尾裕道選手、大津晃介選手の3名が来社され、西村幸志郎取締役へ認定証が手渡されました。今シーズンの抱負や今後の活動など、たくさんのお話を聞かせていただきました。今シーズンも「西村組」のロゴは心臓に近い左胸(向かって右胸)に刻まれています。前期シーズンも残すところあと4戦!後半戦に向けていいスタートが切れるよう応援しましょう!昨シーズンのロゴからデザインが変わりました西村組のロゴにもご注目ください!



石狩湾新港「ゴミ拾い」

令和3年7月12日（火）、石狩湾新港放水路東側面緑地の海浜清掃を行いました。

（湧）西村・福津経常建設共同企業体は昨年度に引き続き本年度も、石狩湾新港の防波堤本体となるケーソン製作を行っており、地域住民の皆さまの工事に対する理解と協力への感謝と「海の日」を前に海浜



地を気持ちよく利用してほしいという思いから海浜清掃を企画しました。清掃には13名が参加し、砂浜に散乱した空き缶やペットボトル、金網などのごみを拾い集めました。今後も積極的に社会貢献活動に取り組みたいと思います。

参加された皆さま、お疲れさまでした。



コムケ湖周辺「ゴミ拾いボランティア」

令和3年10月1日（金）、西村・藤共経常建設共同企業体のメンバーがコムケ湖のサンゴ草群生地付近の清掃を行いました。清掃には20名が参加し、砂浜を約2キロにわたり清掃いたしました。砂浜という足場の悪い中、参加された皆さん大変お疲れ様でした！



チャレンジ・
セーフティ
ラリー北海道
2021

実施期間
7/1～10/31

今年も昨年度に引き続き7月1日から10月31日までの4か月間、セーフティラリーに参加しました！「チャレンジ・セーフティラリー北海道2021」とは、交通事故多発期に、無事故・無違反を目標することによって安全運転意識を高め、交通事故防止を図ることを目的とした参加型の交通安全運動です。セーフティラリー期間は10月末で終了しましたが、引き続き事故・違反のないよう安全運転を心がけましょう。



インターンシップ

札幌工科大学専門学校の生徒1名を8月23日から9月4日までインターンシップの受け入れをしました。実習内容は「建設現場における潜水業務及び施工管理業務の実務」です。慣れない環境の中大変だったと思いますが、わからないことは自ら意欲的に質問し元気に取り組んでいました。この経験を生かして、これからの学校生活や将来設計のお役に立てれば幸いです。

秋の交通安全運動

今年も秋の全国交通安全運動が9月21日～30日に実施されました。西村組では季節ごとに行われる交通安全運動に併せて、交通安全街頭啓発を実施しています。

安全運動初日の9月21日に交通量の多い通学時間に合わせ

て、社員30名が湧別小学校前にて交通安全旗で旗の波をつくり街頭啓発を実施しました。

子供や高齢者を始めとする歩行者の安全の確保、安全運転意識の向上、自転車の安全確保と交通ルールの遵守、飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶の重点4点についてこの啓発活動の機に皆さんにも心に留めていた

だき、交通弱者と呼ばれる方たちの助けになるような活動をしていきたいと思っております。悲しい事故が1件でも減るよう、交通法令を遵守、交通マナーを守り、安全運転をしましょう！

《秋の交通安全運動目標》

- ・子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ・夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
- ・自転車の安全確保と交通ルールの遵守の徹底
- ・飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

湧別建設業協会主催

交通安全街頭啓発

令和3年10月15日（金）、湧別建設業協会主催の交通安全街頭啓発に参加しました。「工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動」並びに「秋の輸送繁忙期の交通安全運動」の行事として行われました。参加者が交通安全手旗・のぼり等によ

り「旗の波」を作り交通安全街頭啓発を実施し、ドライバーに交通安全と事故防止を呼びかけ、啓発グッズを配布しました。

例年追い込み期に当たる10月から12月に多発する傾向にある、死亡者、死傷者ともに年間の3割弱がこの時期の発生しています。こ

れからが冬本番です。まだまだ寒い日が続きますが安全第一で気を引き締めていきましょう！



裏表紙に掲載する写真を募集いたします

趣味等の活動中の写真や自分で撮影した景色等の写真、自分の宝物やペットなど、何でも結構です。なおかつメインは写真なので、文章は説明文程度で結構です。

皆様の「美しい」「美しい」「可愛い」「面白い」写真をお待ちしておりますので、お気軽に投稿してください。

お問い合わせ及び宛先は総務部までお願いします。

親睦会だより

- 結婚祝い
井上 美幸(長男)
- 出産祝い
赤坂 夕香里(長女)
- 成人祝い
斎藤 くるみ
- 還暦祝い
久々湊 慎
新谷 隆司
佐々木 弘幸
金崎 信幸
- お見舞い
成川 和美
- お悔やみ
小川 政美
(実母 小川 キヨ子)

TOPICS

鮭釣り

4年前に始めた鮭釣り、師匠は机を隣にする加茂谷さん!! シーズン中は朝2時起きで週末釣り場に出かけています。毎年釣果は右肩上がりで昨シーズンは20匹を釣り上げました。釣った鮭は切り身・トバ・山漬けにしたり、知り合いにお裾分けしています。ボウズの時も結構ありますが、浜辺で椅子に座って波の音を聞きながらウトウトしているのもリラックスして最高です!!

毛利 祐宏



社内報 にしむらだより

【NISHIMURA FOUR SEASONS】
4半期毎発行

編集／毛利 祐宏
制作・印刷／(株)電通北海道



北海道紋別郡湧別町栄町133番地の1
TEL (01586) 5-2111 FAX (01586) 5-2700
<http://www.nishimura.co.jp/>

札幌支店／札幌市東区北26条東14丁目1番1号 TEL (011) 752-8200
紋別支店／紋別市港町1丁目 TEL (0158) 24-3413

道東営業所／釧路市錦町5丁目3番地 三ツ輪ビル5F TEL (0154) 25-5669
函館営業所／函館市本町26-18 第2名美ビル TEL (0138) 53-5144

東北営業所／宮城県石巻市恵み野6丁目5番地15 スマイルビル2F TEL (0225) 98-9598

森林保護のため
再生紙を使用しています。